

# 活動の発表と懇談

## 浦河の医療機関を守る会の研修会で

今年の春、浦河の医療機関 会の勉強にもなるのでお掛けを守る会の事務局の小野浦河 することになり、その後、何町保健福祉課長からメールが 度かメールを交換して、準備届き。当会の活動を浦河で発 を進め、いよいよ浦河への出表して欲しいとのこと。 発です。

平成28年8月4 日朝8時、夏の暑い 日差しのおホーツク から太平洋に向かっ て逢坂代表・谷川副 代表・阿久津事務局 長が出発しました。

置戸、芽登、帯広 を経由して、忠類の 道の駅で昼食をと り、再び国道236 号を走行、天馬街道 に差しかり野塚ト ンネル(全長423 2M)を抜け平野部 に入った。

広い牧場に馬の親 子のがんびりと草を 食んでいます。幾つ かの牧場を通過する と太平洋の香りがし てきました。街の中 心にある浦河町総合 文化会館はもうすぐ です。

銀行やホテルが建 ち並び、図書館を併 設した研修会場に到 着したのは午後1時 45分頃でした。

事務局の小野浦河 町保健福祉課長、小 林同課参事、早坂浦 河町社会福祉協議会 事務局長が待機して いてくださり、早速、 ご挨拶と名刺交換、 事前打ち合わせ、写 真の展示、そして「オ ホーツクの風」のバ ックナンバーと報道 資料のクリヤーブツ クを贈呈。

午後3時30分の 開会を待つばかりで す。 浦河の医療を守る 会・浦河町保健福祉 課・浦河町保健推進 員・浦河民生児童委



員協議会・薬剤師会・ 浦河赤十字病院いち の会など30数名

の皆さんが集まり、 研修会は始まりまし た。

浦河の医療機関を 守る会の武田副会長 の挨拶があり、引き 続き逢坂代表がご参 集戴いた皆さんへの お礼やお招きを戴い たお礼、そして発表 はパワーポイントで 行う旨を説明しまし た。

### 谷川代表の発表

北見赤十字病院は 平成20年1月、内 科医6人全員が退職 の意向を固め、4月 から内科の診療が一 時休止する事態に見 まわれました。地域 医療が崩壊するので はないかと市民は不 安を募らせました。

その直後、北見日 赤に入院しました た、内科の待合室は 真っ暗で患者はだれ もいませんでした。

地域の基幹病院が 大変なことになった と思いました。そこ で病院の大切さや地 域医療のことなどを 考え、市民に出来る 支援活動をしようと 思い、平成21年1 1月、会を立ち上げ ました。

立ち上げた当時、 多くの人に賛同して もらえると思ってい ましたが、現実は大 違っていました。病 院に不満を 持つている人たちの 批判の声などがあ り、いろいろな考え

があることを知りま した。

まずは病院のこと を知ろうと病院の見 学などを行い、そこ で働く医師、看護師 そして医療スタッフ に感謝の気持ちを伝 えることから始めま した。

### 阿久津 事務局長の発表

「オホーツクの風」 の発行▼日赤との情 報の共有、会員相互 の交流、市民や患者 の立場から感謝と応 援や提言などを掲載 するのが目的です。

当初は皆さんから 何のための会なのか と、よく質問されま したが、上手く答え ることが出来ません でした。そんな調子 ですから、お仲間も 誘わずにいました。

自分たちに何が出 来るのか、自分自身、 何一つわかっていな かったのです。でも、 私の中では、さいは てと言われる日本の 北の果て、オホーツ ク圏で唯一3次医療

が受けられる、この 病院を大切にしまし なければいけないこと を市民の皆さんにも知 っ て欲しい、その方 法の一つが機関誌の 発行でした。

院内見学、ウイン ターミーティング 「上野看護部長を囲 んで」、「きたみ医 療サミット ウイン ター」PETセンター はオホーツクの宝 物、PETセンター の見学、新病院見学 会、「がんの最前線・ 緩和ケアとは」と詳 しい説明が続く。

昨年10月、第5 1回日本赤十字社医 学会総会▼県庁所在 地以外の市での開催 は北見が初めてで、 市内の4施設、13 会場で開かれまし た。北見では経験し たことがない壮大な プロジェクトで、1 700名の皆さんが 北見を訪れました。 吉田院長のリーダ ーシップがあったか らこそその開催と思 っています。